

## 今週のトピックス

7月29日編集

### ○「有峰村民・村仕事の集い」開催

「村民村仕事」の目的は、「有峰をこよなく愛する有峰森林文化村の村民が、冷夕谷キャンプ場の草刈りや野営体験を行い、参加者相互の絆や融和を深めるとともに、有峰の豊かな自然を五感で感じ、有峰の森から元気をもらう。」ことです。例年は一泊二日の行事ですが、新型コロナの影響で今年は日帰り行事となりました。7月23日（木祝日）、活動組織・有峰だいすき会（会長：中川正次）の会員を中心に21名が9:30冷夕谷キャンプ場に集合し、中川会長による「はじまりの会」の挨拶後、キャンプ場の草刈りや清掃の作業を開始しました。7月下旬ともなると、キャンプ場は草が伸び放題になっています。当日は、朝から生憎の雨模様でしたが、参加された皆さん、中川会長号令の下、分担して一生懸命草刈り等の作業を行いました。参加者は、有峰の豊かな自然を、五感で体感されました。有峰森林文化村の職員も、参加者から元気をもらいました。「村民村仕事」は、有峰だいすき会と文化村が共催で、冷夕谷キャンプ場の草刈り等のボランティアを実施しているもので、この活動により快適なキャンプ場の活用が維持されていることから、文化村でも大変感謝しています。



はじまりの会で挨拶する中川会長



草刈り作業の様子



草刈り作業の様子



ロッジ前にて参加者全員で記念撮影  
皆さんの笑顔が素敵です！



草刈りを終えた冷夕谷キャンプ場よりロッジを望む  
(冷夕谷キャンプ場にて7/27撮影)

### ○クマ対策折立地区パトロール日誌

クマ対策の一環として、昨年に引続き7月より不特定多数が訪れる折立地区（キャンプ場及び駐車場）をパトロールし、PRパンフ（遭遇防止、遭遇した場合の対処法、誘引防止（食料残渣の放置禁止）を配布し、普及活動を実施、また、キャンプ場周辺に捨てられている生ゴミ等の回収作業を行っています。折立地区のキャンプ場及び駐車場の利用者の大半は、登山客です。今年7月、本格的な登山シーズンを迎えるに当たり、クマが頻繁に出没している現状を踏まえ、クマ対策用に折立地区キャンプ場に新たに電気柵を設定しました。

7月24日のパトロール時（16時頃）には県外車両も含め80台の駐車が確認されました。例年ならこの時期、臨時駐車場も含め500台程度の駐車がありますが、新型コロナの影響か16%に留まっています。生ゴミは各自持ち帰りをお願いしていますが、駐車場に放置されているゴミもあり、回収しました。



PRパンフを配布し普及活動を実施している職員  
(7/24折立地区にて撮影)



新たに設置された有峰ハウスの案内板  
(7/24折立地区にて撮影)



設営テントに向かう職員

(設置された電気柵腰越しに7/24撮影)



テントを張っている登山者にPR中の職員  
(折立キャンプ場にて7/24撮影)



キャンプ場に設置されたゴミ捨て場の状況  
(折立キャンプ場にて 7/24 撮影)



ゴミ捨て場に常設された注意喚起看板（右下）  
(折立キャンプ場にて 7/24 撮影)



電気柵の出入口を示した掲示板  
(折立キャンプ場にて 7/24 撮影)



駐車場に捨てられていたゴミ類  
(折立駐車場にて 7/24 撮影)



駐車場の一風景  
(折立キャンプ場にて 7/24 撮影)

## ○「ミニ観察会」実施報告・その2

**「ミニ観察会」「有峰ハウスに宿泊して、灯火採集を体験しよう！」**というキャンチフレーズで、7月中旬より、ありみネットやLINE等で配信する一方、公的機関等への職員による募集要項配布も同時に行い、公募を開始しました。7月25日2家族合計8名と有峰ハウスのスタッフ2名にも参加戴き、19時30分より灯火採集（ライトトラップ）を開始しました。事前にビジターセンターに集合戴き、灯火採集の方法や有峰の動植物の紹介も行いました。この日は生憎の雨天で、飛来する昆虫類の種類、数も少ない状況でした。観察会は、19:30から22:00頃まで行われました。大型蛾類、クルマスズメ（スズメガ科）やエゾスズメ（スズメガ科）が飛来したときは歓声が上がりました。残念ながら子供たちが切望していたクワガタムシやカブトムシの飛来はありませんでした。降雨時の「ミニ観察会」、場所の設定等、今後の検討課題と痛感しました。



ミヤマクワガタを観察中の親子  
(ビジターセンターにて7/25撮影)



内側からライトトラップ観察中の参加者  
(ビジターセンター裏にて7/25撮影)



灯火採集等について事前説明する指導員と参加者  
(ビジターセンターにて7/25撮影)



飛来した昆虫類について説明する指導員  
(ビジターセンターにて7/25撮影)



傘を差しながらライトトラップ観察中の参加者  
ビジターセンター裏にて7/25撮影